

NEXT STAGE 荒川電工株式会社



本社ショールーム/メガソーラー施設

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
荒川 浩一

トリプルハンドレッドを目指していくことが、私たちの考えるNEXT STAGEである。

私たち荒川電工は、1962年創業、電気工事一筋で地域のインフラを支え続けてきました。長年に亘り培った技術力と信用を基盤に、安定した事業を確立。2005年、事業推進の転換を図り、第二創業期へ。従来からの電気工事に加え、再生可能エネルギー分野へ参入。特に太陽光発電事業においては、県内トップクラスの実績を構築しております。更に上記と並行して、空調事業、プラント事業、通信事業などの電気工事のシナジーを活かした総合インフラ企業へと進化。2026年、成長から成熟へのキーワードのもと、今後10年間で親会社である荒川電工ホールディングスとして、売上高100億円を目指します。併せて、100年続く企業、100人以上の従業員の継続雇用を目標に、トリプルハンドレッドを目指してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

ホールディングスを中心としたグループ力を活かし、2036年に売上高100億円達成を目指す。
単に売上を伸ばすだけではなく、売上高の50%をストック売上として確保することを目標。
女性が主役となるような新しいビジネスモデルの開発。

課題

- ・県内就職率の低下
- ・若者の県外流出
- ・大地震、津波などの自然災害のリスク
- ・人口減少による公共投資の先細り

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

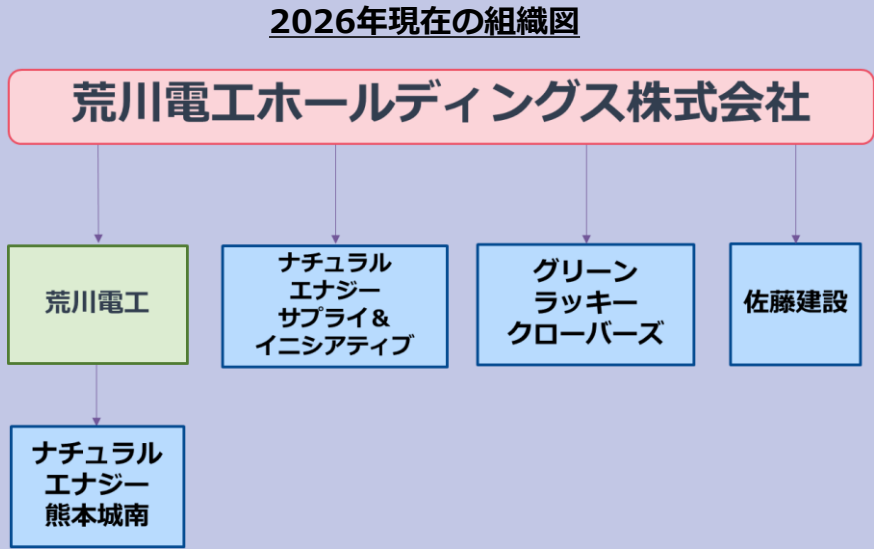
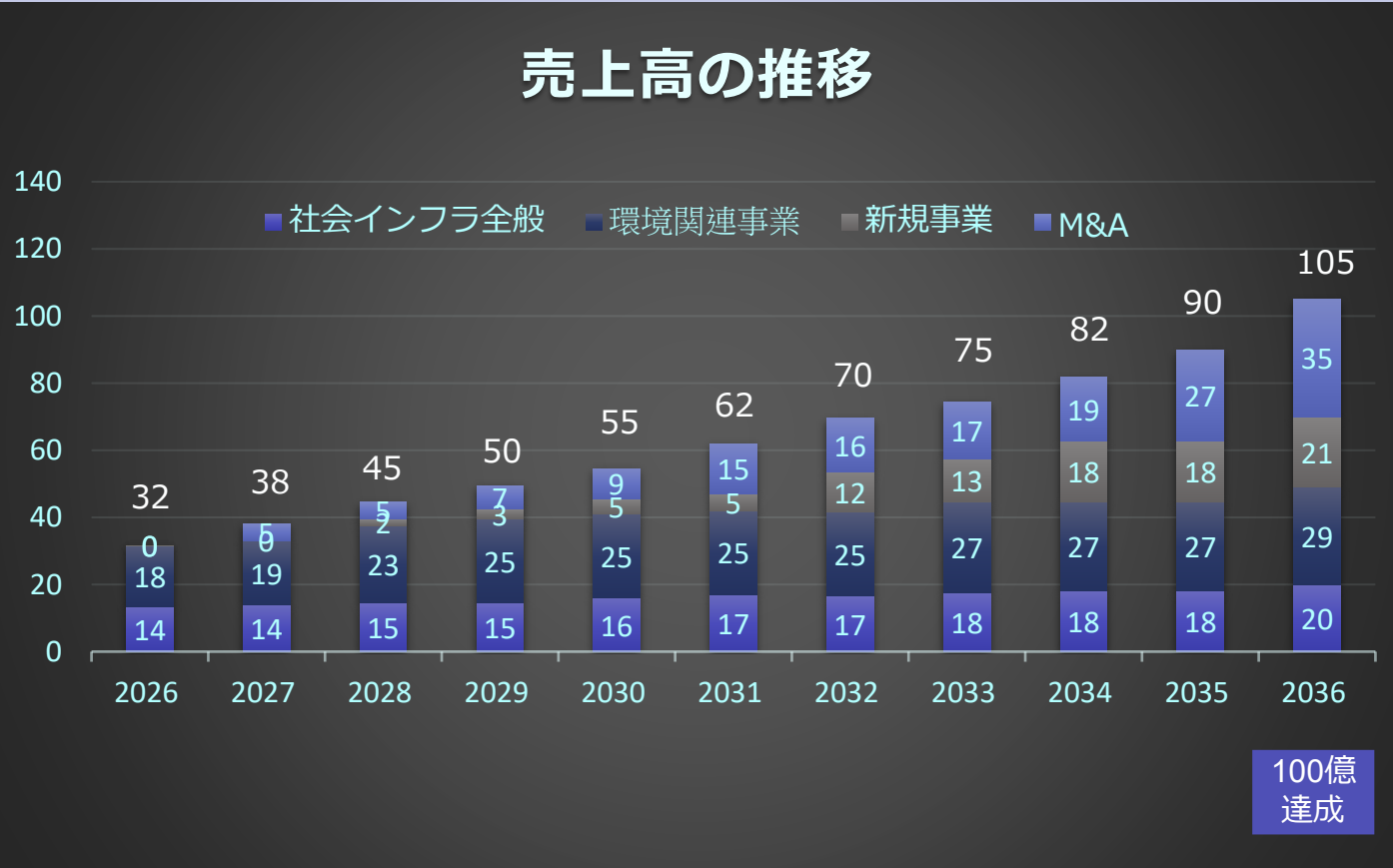
- ①電気・プラント・通信・空調など総合インフラ企業として、県内外を問わず広く販路の拡大を目指す。
- ②再生可能エネルギー（太陽光・風力・小水力・木質バイオマス）の拡販。安定利用の為の調整力としての蓄電池の積極活用。
- ③M&Aによる事業領域の拡大、県外企業のM&Aは究極のBCP対策。
- ④新規事業の立上げ。

実施体制

- 社内：成長戦略本部を中心としたプロジェクトチーム
外部：ステークホルダーや専門家チームとの連携による実現可能な計画の推進
- ・中小企業基盤整備機構 ハンズオン支援事業
 - ・高知県産業振興センター 事業戦略（スケールアップ）伴奏支援事業

- 本社所在地：高知県高知市高そね6-19
- 事業概要：環境関連事業、社会インフラ設備全般（電気・空調・機械器具設置・通信）、太陽光発電事業等
- 常時使用する従業員：93名
（グループ全体・2026年4月時点）
- 現在の売上高：27億円
（グループ全体・2025年9月期）
- 法人番号：5490001010267
- Web：<https://www.araden-21.co.jp/>

グループ売上（100億円実現の目標と施策）



○法人番号：5490001010267（荒川電工ホールディングス）、8490001000091（荒川電工）、6490001007353（ナチュラルエナジーサプライ&イニシアティブ）、6010401132393（ナチュラルエナジー熊本城南）、2490001009386（グリーンラッキークロバーズ）、6470001010383（佐藤建設）